

組合基本方針 **組合の団結と調和 日本一の工業団地を目指す！**

## 第35回通常総会開催

令和3年5月24日(月)に当組合の第35回通常総会を開催いたしました。

昨年度の第34回通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大と緊急事態宣言が発令されたため正副理事長及び書面議決で開催しましたが、第35回通常総会は役員改選が行われることもあり、組合員の出席により開催を致しました。



しかし、残念ながら新型コロ

ナウイルス感染症拡大防止策としてご来賓にはご出席をいただけませんでした。

議事につきましては、司会者 大塚総務委員長より議長に菊地理事長が選任され、菊地理事長が議長に就き審議が行われ、第1号議案より第5号議案まで慎重に審議が行われ、全議案について可決承認されました。

任期満了に伴う役員改選については、指名推薦で行われ選考委員により、

理事 洞下英人、伊東秀幸、山本義勝、大塚秀高、澤地雅彦、小野幸一、岩佐祥一  
員外 安藤孝、長橋敏男

監事 長浦謙太郎、遠藤佳男

が指名され、承認されました。

総会終了後理事会が開催され、理事長、副理事長、専務理事の人事について審議が行われ、

理事長 洞下英人

副理事長 伊東秀幸、山本義勝、大塚秀高

専務理事 長橋敏男

以上の新体制が決定いたしましたので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、本総会で勇退された菊地前理事長は顧問、熊本副理事長は相談役に就任していただき、組合運営に引き続きご助言をいただくことになりました。

### 組合年度方針

新体制による組合運営強化

組合と新川耕地の経済と雇用の発展

新たなる方法による共同事業の検討

新型コロナウイルス感染症に関する対応と各種情報の提

## 理事長就任のご挨拶

このたび、令和3年5月24日の第35回通常総会におきまして、菊地憲悦理事長からバトンを受け理事長の大任を拝しました。この重責に身の引き締まる思いですが、微力ながら組合の皆さま方の益々の発展に寄与できるよう誠心誠意、努めてまいります。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、ここ数年における当組合は、各企業の世代交代が進み、新体制への転換期を迎えました。流山工業団地協同組合が設立してからの35年の間、経済環境が激変するなかで数々の困難に耐え、そして乗り越え、無事に繁栄継続することができたのは、兎にも角にも先代である諸先輩方のご尽力と共生精神の賜物であると深く感謝するばかりであります。

私たち現役世代は、これまで諸先輩方よりご教示いただいた歴史と創業精神を大切に、新たな経済転換へ順応しながら、新機軸をもって時

代を突き進んで行かなければなりません。昨今の世界経済大転換期に、コロナ禍という状況になり世界が混沌としながらも、DX（デジタルトランスフォーメーション）化への促進に繋がっていることも事実です。これからますます進化する、人間とAIの共存・共生による社会革新に対応すべく、皆さまと情報を共有し合いながら、問題を一つひとつ解決してまいりたいと思います。また、環境保全やエネルギー対策を含めたSDGsの取組みは新たな課題の一つでもあります。一企業ではなかなか成しえないこと、着手しづらいことも組合員全員で一緒に考え、実践することにより解決可能なことが数多くあります。共に学び、自身を磨き、生きがい・やりがい・働きのある企業へと成長してまいりましょう。

関係者の皆さま方には、これからも引き続き、当組合事業へのご助言とご指導を賜りますよう切にお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

サンコーテクノ(株) 代表取締役 洞下 英人



## 理事長退任のご挨拶



去る2021年5月24日第35期通常総会に於いて、理事長を退任する事になりました。

思い起こせば、1984年協議会設立以来、チャーターメンバーとして、2001年副理事長就任、2017年理事長に就任に至り、37年間組合活動を無事に務める事が出来ました。これも皆様方のご指導・ご支援・ご協力のお陰です。心より厚く御礼を申し上げます。

新理事長に就任されました洞下英人氏は、全組合員の総意によって選出されましたので、引き続き、皆様方のお引き立てとご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

在任期間の出来事としては、金融事業利率の交渉に始まり、ホームページリニューアルの推進、2018年9月に、流山新川耕地情報連絡協議会の設立、今後経済の発展の中心として、メ

ンバーは流山工業団地、商工会議所、GLP、大和ハウス、ラサール、全体では113.4ヘクタールの面積に及んでおります。

そして1991年以来、30年間工業団地隣地の土地(563坪)の空いていた物件を、(株)ファンケル美健(池森政治氏)によって購入していただき、今後工業団地として事業活動を行うことが認可されました。

結びに、新世代理事の皆様方、流山工業団地を日本一の工業団地を目指し、各企業の繁栄と発展をされます様お祈り申し上げます。

キクチ(株) 菊地 憲悦

# 組合役員紹介



【副理事長】

伊東秀幸  
株式会社ユーワ  
代表取締役



【副理事長】

山本義勝  
株式会社鶴田食品千葉  
代表取締役



【副理事長】

大塚秀高  
株式会社サンオー  
代表取締役



【理事】

澤地雅彦  
有限会社澤地シェルモールド  
代表取締役



【理事】

小野幸一  
マックスブル工業株式会社  
代表取締役



【理事】

岩佐祥一  
栄光産業株式会社  
代表取締役



【監事】

長浦謙太郎  
有限会社長浦製作所  
代表取締役



【監事】

遠藤佳男  
株式会社マルタカ  
代表取締役

## 組合員紹介



この度、組合員に加入したキクチ(株)菊地潤です。

弊社会長の菊地憲悦が組合の理事長を退任し、私自身、久しぶりの組合活動の参加になりますので、至らないところが多々あるかと思いますが、組合事業の発展に微力ながら貢献できればと思う所存でございます。

コロナ禍の中、ワクチン普及により社会情勢も変わりつつあります。日々の変化に対応し、様々な課題に取り組んで参りたいと思います。

今後とも、ご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

**キクチ(株) 代表取締役 菊地 潤**



流山工業団地協同組合が設立され 35 年が経ちました。

組合員企業でも続々と世代交代があり、いよいよ私も…となると年月の経過を感じるとともに、工業団地造成の構想時から大変な苦労を重ね集団化を実現された方々の志に、身の引き締まる思いであります。

流山工業団地の基本方針にあります[組合の団結と調和]を実現させていくことこそ、これからの時代を担う者としての使命であり、社会的貢献につながると思っております。

よく先代から「今の会社があるのは流山工業団地のおかげだ」と聞いてきました。世代は変われど、創設時の方々への感謝の気持ちを忘れずに、自社の成長と流山工業団地の発展に尽力する所存であります。

私自身も受け取ったバトンを次の世代に渡していけるよう努力いたします。

宜しく願いいたします。

**(株)初石飯金 代表取締役 熊本 匡史**

# 祝 200 号祝辞



## 流山市長 井崎 義治

平素から、流山工業団地協同組合の組合企業の皆様には、市政はもとより市内製造業のトップ集団として地域経済の発展に多大なるご貢献をいただき、心から御礼申し上げます。

このたび『工業団地ニュース』がめでたく創刊 200 号を迎えられましたことは、これまでの 37 年にわたる歴代の理事長をはじめ、関係者の方々の並々ならぬご努力の賜物であり、改めて敬意を表する次第です。

現在のコロナ禍を含め、社会情勢は常に激しく変化を続けていますが、これからも洞下理事長を中心に貴組合が基本方針に掲げている「組合の団結と調和」を更に強固なものとして、皆様の更なるご飛躍をご祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉と致します。



## 流山商工会議所 会頭 田口 佳子

流山工業団地協同組合「団地ニュース」第 200 号の発刊、誠にありがとうございます。「団地ニュース」については、総会をはじめとする組織運営の状況や、各企業の事業紹介、功労・貢献のあった個人や事業所の表彰、ゴルフなど和気あいあいとした親睦の様子など、組合の様々な活動を広くそしてタイムリーに組合内外に発信してこられました。200 号発刊の間、各記事の執筆や毎号の編集作業に携わってきた皆様方の御労苦に改めて敬意を表するしだいです。

貴組合の総合情報紙とも言える「団地ニュース」の今後における益々の充実とさらなる発展をご祈念申し上げます。



## 流山市元市長 秋元大吉郎

工業団地ニュース 200 号は発行を迎えられ誠にありがとうございます。

“継続は力なり”の金言をしみじみと感ずると共に、工業団地に進出の企業の社長さんをはじめ社員の皆さまの偉大のご努力に敬意を表します。工業団地ニュースにきざみこまれた一事一餉が、音高らかに輝きを増すばかりであります。

大きな夢を抱き、モーゼの十戒の道のないところに道をつくる決意に燃え、二階から目薬を差す難事にも、微動だもせぬ細心の勇気と団結の同志のいのちを懸けた挑戦の神々しい一号一号の積み重ねが 200 号を積み上げたのであります。

顧みれば、当時の沼田知事様から、住工混在の解消改善と、中小企業の近代化の推進、更には地域経済の活性化は、是非とも“流山工業団地方式で”と賞讃をいただいたことは

うべなるかなであります。

効果は勿論血のにじむような努力と勤勉と叡智の結集であります、各企業種別の充実した業績は上場企業の躍進を見ても顕著であります。

生々発展の企業団地のコミュニティと発信力に大きく貢献致して参りました“工業団地ニュース”に満腔の敬意を捧げ益々の期待を申し上げるところであります。

今後とも永遠である工業団地の“団地ニュース”の役割は貴重であり威力であります。

永遠にむけての御発展をこころから祈念申し上げ粗辞ではありますがお祝いの言葉とさせていただきます。



## 流山工業団地協同組合 理事長 洞下 英人

祝 200 号、誠にありがとうございます。

1984 年 9 月 10 日の創刊から 37 年を経て、第 200 号を発刊するに至りましたのも、数々の寄稿・校正・編集等に携わられた、皆さま方のご協力の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。また、流山工業団地の設立にあたっては、秋元大吉郎元市長様はじめ、多くの方々のご尽力により集団化を図れたこと、そして、組合の結束を維持できたことに深く感謝いたします。創刊から 200 号までの間、私たちは、バブル崩壊やリーマンショック、東日本大震災など、さまざまな苦難を経験しました。集団化した意義は、まさにこうした苦難を一つひとつ乗り越えた軌跡が物語っているといえましょう。「継続は力なり」という言葉の如く、流山工業団地協同組合の成長の歴史と財産をしっかりと受け継ぎ、こ

れからも工業団地ニュースがさらにバージョンアップしながら、皆さまとの情報の架け橋として継続することを願ひまして、祝辞とさせていただきます。

関係者の皆さま方、本当にありがとうございました。



# 事務局だより

令和3年5月24日（月）に開催しました、第35回通常総会におきまして勇退される菊地前理事長、熊本前副理事長へ洞下新理事長より感謝状楯、花束の贈呈が行われました。



## 健康診断の実施

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため健康診断が予定月に実施ができず、実施月がずれてしまいましたが、春の健康診断を令和3年6月2日（水）に実施し、次回は秋の健康診断を10月に実施する予定です。来年度より通常の4月、10月開催の予定で実施します。

## 献血の協力

本年度より6月を追加し、10月、2月の年3回協力することになり、6月23日（水）に実施し、11社、協力者 71名（前回より+13名）、200 ml 4名、400 ml 53名、不採血 14名の方にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

次回は、10月の実施になりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

待ちに待った東京2020オリンピック・パラリンピックがもうすぐ開催されます。日本でどんな素晴らしいパフォーマンスが繰り広げられるか想像しただけでワクワクします。流山市はオランダ代表チームが事前キャンプ地となっております。また、流山市出身の寺村美穂選手はリオ五輪に続いて水泳日本代表に決定しています。オリンピックが明るい未来への架け橋となることを期待しています。

流山工業団地は理事長はじめ役員が替わります。菊地前理事長、熊本前副理事長には長きに渡り流山工業団地組合のためにご尽力いただきありがとうございました。そして、洞下新理事長はじめ新役員を中心にこれから新たな船出をしていきます。流山工業団地がますます発展していくよう皆さんと共に力を合わせてまいりましょう。

岩佐 祥一

流山工業団地協同組合

編集・発行：におどり次世代会

〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-46

☎ 04(7153)3001